

クリーンでないシャットダウン後のMongoDBの修復

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ログデータの確認](#)

[データベースが起動しない場合は修復します](#)

概要

このドキュメントでは、アンクリーンシャットダウン後にSecure Network Analytics (以前のStealthwatch) ManagerアプライアンスでMongoDBを修復する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドの潜在的な影響について確実に理解してください」

ログデータの確認

`less`コマンドを使用して、`mongod.log`ファイルを確認します。

```
732smc:~# less /lancope/var/mongod.log/mongod.log
2021-06-21T14:54:43.029+0000 I CONTROL ***** SERVER RESTARTED *****
2021-06-21T14:54:43.033+0000 I CONTROL [initandlisten] MongoDB starting : pid=87057 port=27017
dbpath=/lancope/var/database/dbs/mdb/ 64-bit host=usseccrapstwsml
2021-06-21T14:54:43.033+0000 I CONTROL [initandlisten] db version v3.0.15
2021-06-21T14:54:43.033+0000 I CONTROL [initandlisten] git version:
b8ff507269c382bc100fc52f75f48d54cd42ec3b
2021-06-21T14:54:43.033+0000 I CONTROL [initandlisten] build info: Linux 3555b2234f08 4.9.0-2-
amd64 #1 SMP Debian 4.9.13-1 (2017-02-27) x86_64 BOOST_LIB_VERSION=1_49
2021-06-21T14:54:43.033+0000 I CONTROL [initandlisten] allocator: tcmalloc
```

```
2021-06-21T14:54:43.033+0000 I CONTROL [initandlisten] options: { config:
"/etc/mongodb/mongodb.conf", net: { port: 27017 }, processManagement: { fork: true }, storage: {
dbPath: "/lancope/var/database/dbs/mdb/" }, systemLog: { destination: "file", logAppend: true,
path: "/lancope/var/mongodb/log/mongodb.log" } }
2021-06-21T14:54:43.050+0000 W - [initandlisten] Detected unclean shutdown -
/lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock is not empty.
2021-06-21T14:54:43.063+0000 I STORAGE [initandlisten] *****
old lock file: /lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock. probably means unclean shutdown,
but there are no journal files to recover.
this is likely human error or filesystem corruption.
please make sure that your journal directory is mounted.
found 2 dbs.
see: http://dochub.mongodb.org/core/repair for more information
*****
2021-06-21T14:54:43.063+0000 I STORAGE [initandlisten] exception in initAndListen: 12596 old
lock file, terminating
2021-06-21T14:54:43.063+0000 I CONTROL [initandlisten] dbexit: rc: 100
```

データベースが起動しない場合は修復します

ステップ 1 : Mongoステータスの確認

lc-mongodb.serviceのステータスを確認するには、`systemctl is-active lc-mongodb`コマンドを発行します。

Mongoがアクティブ状態の場合、結果は次のようになります。

```
732smc:/# systemctl is-active lc-mongodb
active
732smc:/#
```

Mongoがアクティブ状態でない場合、結果は次のようになります。

```
732smc:/# systemctl is-active lc-mongodb
inactive
732smc:/#
```

ステップ 2 : Mongoサービスの停止

lc-mongodbサービスが状態であることが判明した場合は、`/bin/systemctl stop lc-mongodb.service`コマンドを使用してサービスを停止します。

```
732smc:/# /bin/systemctl stop lc-mongodb.service
732smc:/# /bin/systemctl status lc-mongodb.service | grep Active
Active: inactive (dead) since Thu 2022-04-07 12:33:49 UTC; 1s ago7
```

しばらく待って、mongoが停止状態になっていることを確認します。必要に応じて`/bin/systemctl status lc-mongodb.service`コマンドを使用して、サービスが状態であることを確認します。

ステップ 3 : プロセスID(PID)の収集

ロックファイルにまだPIDが含まれているかどうかを確認します。 `cat /lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock`コマンドを発行します。

この出力は、ロックファイルにmongoサービスのPIDが含まれていることを示しています。このファイルには、サービスがアクティブ状態の場合にのみデータを含める必要があります。

注:PIDが返された場合は、ステップ4で使用されるPIDをメモします

```
732smc:/# cat /lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock
14259
732smc:/#
```

この出力は、ロックファイルにPIDが含まれていないことを示しています。プロセスがアクティブ状態でない場合は、このファイルを空にする必要があります。PIDがない場合は、ステップ7に進みます。

```
732smc:/# cat /lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock
732smc:/#
```

ステップ4: PIDステータスの確認

ステップ3でチェックしたmongod.lockファイルにPIDが含まれている場合は、`ps faux | grep [1]4259`コマンド (ステップ3のPIDで[1]4259を変更) を実行してPIDの存在を確認し、見つかった場合はPIDを強制終了します。

注: ブラケット式は必須ではありませんが、出力で「grep」コマンドが除外されます。

```
732smc:/# ps faux | grep [1]4259
mongodb 14259 0.3 0.4 516180 71520 ? S1 12:38 0:03 /lancope/mongodb/bin/mongod --fork --config
/etc/mongodb/mongodb.conf
732smc:/# kill -9 14259
732smc:/#
```

ステップ5: ロックファイルの内容をクリアする

> `/lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock`コマンドを使用して、ロックファイルの内容をクリアします。`cat /lancope/var/database/dbs/mdb/mongo.lock`コマンドを使用して、ファイルが空になっていることを確認します。

```
732smc:/# > /lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock
732smc:/# cat /lancope/var/database/dbs/mdb/mongod.lock
732smc:/#
```

手順6: MongoDBの起動を試みます

`/bin/systemctl start lc-mongodb.service`コマンドを使用して、lc-mongodbサービスの開始を試みます。プロンプトが返されたら、`/bin/systemctl status lc-mongodb.service | grep Active`コマンドを使用します。

```
732smc:/# /bin/systemctl start lc-mongodb.service
732smc:/# /bin/systemctl status lc-mongodb.service | grep Active
Active: active (running) since Thu 2022-04-07 12:38:37 UTC; 27s ago
732smc:/#
```

プロセスがアクティブ状態の場合は、数分後にもう一度チェックして、プロセスがアクティブ状態のままであることを確認します。データベースが正常に機能している場合は、データベースを修復する必要はありません。プロセスがアクティブなままにならない場合は、ステップ7に進み、修復プロセスを開始します。

手順7: 修復の開始

```
sudo -u mongod /lancope/mongod/bin/mongod --dbpath /lancope/var/database/dbs/mdb --repair
```

コマンドを発行します

```
732smc:/# sudo -u mongod /lancope/mongod/bin/mongod --dbpath /lancope/var/database/dbs/mdb/ --repair
```

```
732smc:/#
```

ステップ 8 : 修復されたMongoDBを起動します

`/bin/systemctl start lc-mongod.service`コマンドを実行して、サービスを開始します。プロセスはアクティブ状態のままにする必要があります、`/bin/systemctl status lc-mongod.service`コマンドで確認できます。

```
732smc:/# /bin/systemctl start lc-mongod.service
```

```
732smc:/# /bin/systemctl status lc-mongod.service | grep Active
```

```
Active: active (running) since Thu 2022-04-07 12:38:37 UTC; 27s ago
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。